

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第14号 平成26年7月19日

先発祐太郎四死球5ながら、要所を締める

チャンスに適時打、打線が繋がる！

	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	0	0	1	0	0		1
G	0	1	3	2	0	×		6



7/19(土)約1か月ぶりのゲーム、グリーンピースを中田公園野球場に迎え、オープン戦を戦った。天候はあいにくの状況だったが、次節を考慮すると、どうしても行いたいゲームであった。今日の先発は祐太郎、今期マウンドに上がった際には、未だ自責が無いだけに、今日のマウンドを楽しみであった。その立ち上がり、先頭をサードの失策で出塁を許すが、見切り発車の走者を二塁で刺す。後続は二ゴロで斬り二死をあっさり得たが、後続二打者には、四球・死球で出塁を許した。が、今度は次打者を空三振に斬り初回を終えた。その裏の攻撃は、あっさり三人で終わり、翌二回の相手攻撃、今度は、初回とガラッと変わり、二打者を連続三振に斬るなど、三者凡退で二回を終えた。その裏の攻撃、先頭は倒れ一死となったが、次打者の哲也が四球を選択し出塁、その後、二つのWPで三塁まで到達、この場面で今日6番に入った深沢が、三球目を振り抜くと、右越えの2ベースとなり、哲也がホームインし、先制を挙げた。その後もチャンスがあったが、最少得点の1点とまり。三回は、四球と安打で三塁まで走者を進めたが、ホームインを許さず、この日も抑えた。その裏、先頭の智が2ベースで出塁、その後、次打者の際のWPで三塁に進塁、結局次打者は四球を選択し出塁、そして、三番祐太郎が初球を三遊間を抜き、智がホームインし二点目、更に哲也の安打で一死満塁、ここで先制の適時打を放った深沢が打席に入る、相手投手が力んだのか？二球連続WPで二点を追加しその差を4点とした。満塁のチャンスで大量得点かと思ったが、またもや、後続が続かず残塁とする。翌、4回に相手に得点が入った。先頭を今日二個目の死球で出塁、次打者を空三振に斬ったが、次打者に右前に運ばれ、この打球処理を野手が誤っている間に、一挙ホームインされ、1点を失点した。が、後にも先にも、今日の失点はこの1点のみ。その裏にも、またもや、深沢の適時打で二点を追加し、今日のゲームをほぼ手中に収めた。6回には、政司がマウンドに上がり1安打を許すも得点は許さず勝利でゲームセットとなった。今日のゲームはやはり打線。チャンスに場面に適時打が出た。打線が繋がった、と肝心なところが無にならなかったのが勝利の要因、また、次を狙う走塁が、得点を生んだとも感じた。好調な乱調なピッチングも勝利の要因であろう。勝つという事は、チームに活気を与える、この雰囲気のまま、次節も勝利を呼び込もう！